



美濃加茂自然史研究会
美濃加茂市在住
安藤 志郎さん

教員、博物館学芸員などを
経て現在は美濃加茂自然
史研究会の事務局を担
当。長年にわたり、市内・
県内の自然について調
査・研究を進めています。
最近では、美濃加茂や加
茂郡の自然環境を調査し
てまとめた「守りたい 加
茂の豊かな自然」を発刊す
るにあたり、編集委員長を
務めました。

美濃加茂市の最北三和町の
治田洞から市内最高峰の御殿
山(五百九十九メートル)を経
て上甘屋に至る遊歩道です。
市内では最も豊かな自然が残
されている場所で、沢沿いの切
り立った岩や植物は一見の価値
があります。美濃加茂市の花
「アジサイ」の仲間も多く、ヤマ
アジサイ、クサアジサイ、コアジ
サイなどが遊歩道沿いに見ら
れます。岩の上から滴り落ちる

水に目を向けると岩場から垂
れ下がったイワナンテンを見る
ことができます。また、シダ植
物の宝庫でもあり、色々なシダ
に出会えるのも魅力です。
御殿山山頂には白山神社が
祭られ、付近の岩場からの展望
は疲れた体を爽快な気分にし
てくれます。山頂から上甘屋へ
の道は利用者も少なく、ヤブツ
バキの林の中でカモシカが迎え
てくれるかも知れません。

No. 14 奥山自然遊歩道



奥山自然遊歩道
登りルート入口



喫茶店経営者
美濃加茂市在住
都竹 祐樹さん

名古屋や岐阜の飲食店で
修業を重ね、美濃加茂市
民ミュージアムのカフェ運
営を経て、2018年に「喫
茶つみぎ」をオープン。同時
期、家族と美濃加茂市三
和町に移り住みました。たく
さんの人に支えてもらって
できたこの場所を拠点に、
自分たちが暮らす地域を、
子どもからお年寄りまで、地
域のみならずもっと面白く
したいと思っています。

三和町と山之上町の境に位
置する富士山(標高三百五十
七メートル)。地域の人たちから
は「山之上富士」の愛称で親し
まれている山ですが、国土地理
院の地図でも「富士山」と表記
されている正式な富士山です。
二〇一三年に三和町から山頂へ
と続く全長四百七十五メー
トルの遊歩道が完成したことをき
っかけに、地域の人たちや子ども
たちと登るようになりました。
針葉樹林によって日影が確保
されているため、木陰の沢沿い
を気持ちよく歩くことができます。
登り口から四十分ほど歩い
てたどり着いた山頂から眺め
る大好きな三和のまちは絶景
です。川沿いにまとまった集落

を眺めていると、そこに暮らす
人たちの顔が浮かんでくるの
も三和で暮らす人間ならではの
なにかもしれません。
三和町は人口が少なく、町内
にある三和小学校も複式学級
制です。ただ、山に囲まれた静
かな自然環境は、子どもたちに
とって学び豊かな教育のフィー
ルドにもなっています。都会には
ない自然や地域で受け継がれ
ている文化に触れる中で、子ど
もたちをはじめとした多くの
人に「豊かに生きる」ということ
の意味を知って欲しいと願って
いますし、そのきっかけを私自
身も、地域コミュニティの中で
提供し続けていきたいと思っ
ています。

No. 13 富士山から 眺める三和のまち

三和

MIWA

